

## 第26回光学シンポジウム予稿原稿の書き方

### 1. はじめに

予稿原稿は別紙レイアウトにしたがってお書き下さい。カメラレディ原稿はそのままオフセット印刷に、PDF原稿は任意のプリンタで出力し、オフセット印刷いたします。（“6.PDFファイルを使用する方へのお願い”をご参照下さい。）なお、手書き原稿はご遠慮願います。

### 2. 用紙とページ数

予稿原稿は原則としてA4用紙2ページまたは4ページで作成して下さい。各講演の冒頭が左ページとなるように印刷するため、2ページを越える場合は4ページとして下さい。

### 3. 配置

- ・上下各24mm、左右各22mmの余白をとり、この範囲内に原稿を横書きで書いて下さい。
- ・第1ページ目最初に、講演題目、名前、所属をそれぞれ日本語と英語で、また代表者1名のメールアドレス記入して下さい。講演者の名前の左肩に印をつけてください。（日本語と英語共）連名の人の所属が異なる場合には、その人の名前の右肩に\*印を付け、所属が異なる事を明らかにして下さい。
- ・左上隅35mm×20mmの範囲（余白部分も含めると57mm×44mm）は、講演番号を入れますので空けておいて下さい。講演題目、名前、所属、メールアドレスは左寄せで書き始めます。
- ・次に英文アブストラクトを印字範囲の左右の端から10mmずつとって5行以内に入れて下さい。
- ・本文は左端より始め、2段組でお願いいたします。段組の間隔は8mm以上とって下さい。2ページ目からは左上隅の空欄は不要です。
- ・講演者側での予稿原稿へのページ記述は、直接書き込まず、付箋などを用いて示して下さい。
- ・詳細は別紙レイアウトを参照して下さい。

### 4. 文字の大きさ

オフセット印刷した後でも、十分読みやすい大きさの文字で濃く印字して下さい。特に添字や図表の中で使用する文字が小さすぎないように注意して下さい。参考までに別紙レイアウトでは、文字は10ポイントで印字してあります。

### 5. 図、表及び写真（カメラレディ原稿、PDFファイル）

1) コントラストの明確なモノクロ原稿をお願いいたします。

- ・図および表は、黒インクまたは墨を用いて鮮明に書いたもの、またはコントラストの高いコピーをしっかりと貼り付けて下さい。
- ・プリンタ出力される方はモノクロプリンタにてコントラストの高い画像を出力して下さい。
- ・写真は白黒写真でコントラストの高いものを使用し、原稿から剥がれないように貼り付けてください。写真のコピーは御避け下さい。
- ・PDF原稿、カメラレディ原稿に関わらず、カラーの図、表、グラフ、文字あるいは文字のコントラストが落ちるような背景模様（例えば表中の文字の背景として濃い網点等で覆う場合等をいいます）を避けて下さい。
- ・参考文献等からコピーを用いられる場合には、場合によっては印刷時、原稿の原版をお借りする場合があります。
- ・図表中の文字の大きさにご留意願います。

\*印刷時、画像、文字がどのようなようになるか確認するため、予稿原稿を複写機でモノクロコピーしてみして下さい。その状態が予稿集印刷時の状態に近い状態になります。

2) 図、表、写真には英文で説明を付けて下さい。但し、その位置は表では上に、図と写真では下とします。（別紙レイアウト参照）

3) 図、表、写真の大きさは所定範囲内であれば段組にまたがっても結構です。

## 6. PDF ファイルを使用する方へのお願い

PDF ファイルにて予稿を送付される方は以下の件につきまして御対応の程宜しくお願いいたします。  
尚、送付方法は電子メールのファイル添付にてご送付願います。

- ・ PDF ファイルは Acrobat4.0 対応でお願いいたします。
- ・ PDF ファイルの容量は 1MB 以内として下さい。
- ・ 出力の違いで若干のフォントが変わる可能性があります。
- ・ PDF ファイルは汎用のパソコン用プリンタで出力印刷いたします。このため微妙な階調（中間調）のある写真、図に対して階調が再現されない可能性があります。また文中の文字間隔がずれる可能性があります。 ご了承下さい。

## 7. 著作権について

今回提出していただく予稿の著作権および著作権は日本光学会（応用物理学会）に帰属します。

## 8. 提出先と締切及びお問い合わせ先

提出先：〒192-8505 東京都八王子市石川町 2970  
コニカ（株） オプトテクノロジーカンパニー 光学開発センター  
徳弘 節夫 宛（予稿集担当委員）  
TEL 0426-60-9313  
FAX 0426-60-9325  
E-mail Setsuo.Tokuhiro@konica.co.jp

締 切：2000 年 4 月 27 日（金）必着

以上

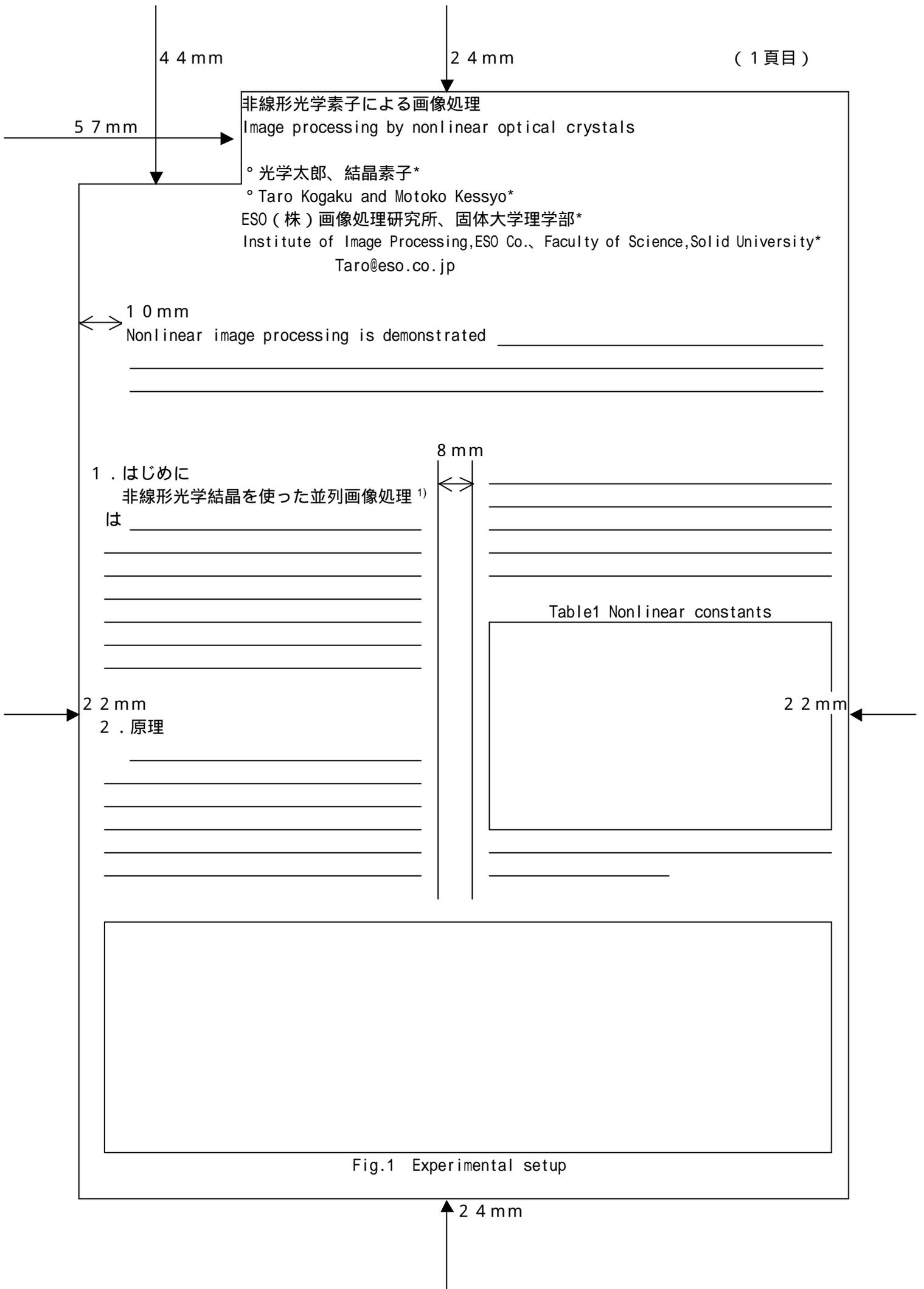


Fig.1 Experimental setup

2.4 mm

(2 頁目もしくは 2 ~ 4 頁目)



5 . おわりに

2.2 mm

2.2 mm

文献

- 1 ) 光学太郎、結晶素子 : 光学 52 ( 1995 ) 76 .
- 2 ) 応物学会 ( 編 ) : 光処理ハンドブック  
( 光書房、東京、1990 ) p.100

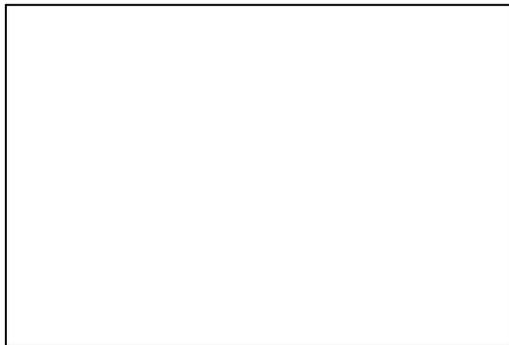


Photo 1 Processed image

2.4 mm